



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 安永
コード番号 7271 URL <http://www.fine-yasunaga.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安永 暁俊

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 長谷川 恵一

TEL 0595-24-2122

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	23,951	7.7	1,061	296.9	658	—	273	—
28年3月期第3四半期	22,241	1.3	267	10.7	△292	—	△491	—

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 △212百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 △1,038百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	22.89	—
28年3月期第3四半期	△41.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	32,977	9,923	30.1	829.51
28年3月期	32,968	10,232	31.0	855.27

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 9,923百万円 28年3月期 10,231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
29年3月期	—	4.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	9.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	34,000	10.0	1,400	274.7	1,000	—	300	—	25.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	12,938,639 株	28年3月期	12,938,639 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	975,277 株	28年3月期	975,277 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	11,963,362 株	28年3月期3Q	11,963,362 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績は緩やかな回復基調にあるものの、個人消費は消費者の節約志向が根強く、景気の回復は緩慢なペースにとどまっています。又、新興国経済の減速や米国新政権の政策運営の不確実性等の懸念材料により、景気の先行きは不透明な状況となっています。

当社グループの主要販売先である自動車業界は、国内市場は依然として低調に推移しましたが、世界規模では、米国での雇用環境の改善を伴った堅調な景気拡大や、中国での小型車減税による需要増等を背景に、販売台数は底堅く推移しました。

このような企業環境下、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高239億51百万円（前年同期比7.7%増加）、営業利益10億61百万円（前年同期比296.9%増加）、経常利益6億58百万円（前年同期は2億92百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億73百万円（前年同期は4億91百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

【エンジン部品事業】

前期において稼働開始したタイ子会社が本格稼働し、販売に加え利益面でも寄与しました。しかしながら、国内販売の減少により売上高はほぼ横這いとなりました。一方、プロダクトミックス及び原価低減活動等により営業利益は良化しました。その結果、売上高153億46百万円（前年同期比1.0%減少）、営業利益6億60百万円（前年同期比280.7%増加）となりました。

【機械装置事業】

太陽電池向けや車載向けの検査測定装置の販売が伸びたことにより売上高は増加しましたが、工作機械及びワイヤソーの採算性低下等により営業損失となりました。その結果、売上高55億19百万円（前年同期比50.1%増加）、営業損失35百万円（前年同期は1億80百万円の営業損失）となりました。

【環境機器事業】

売上高は微増にとどまりましたが、原価低減活動等により営業利益は良化しました。その結果、売上高28億38百万円（前年同期比1.1%増加）、営業利益3億93百万円（前年同期比50.6%増加）となりました。

【その他の事業】

当セグメントには、運輸事業及びサービス事業を含んでおります。

売上高2億47百万円（前年同期比5.3%減少）、営業利益47百万円（前年同期比62.7%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ9百万円（前連結会計年度末比0.0%）増加し、329億77百万円となりました。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ6億57百万円（前連結会計年度末比3.9%）増加し、175億73百万円となりました。

この増加の主な要因は、現金及び預金の増加5億94百万円、仕掛品の増加5億77百万円や受取手形及び売掛金の減少4億84百万円等によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ6億48百万円（前連結会計年度末比4.0%）減少し、154億4百万円となりました。

この減少の主な要因は、有形固定資産の減少12億77百万円や投資その他の資産の増加6億41百万円等によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ11億83百万円（前連結会計年度末比8.9%）増加し、145億27百万円となりました。

この増加の主な要因は、短期借入金の増加10億50百万円等によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ8億65百万円(前連結会計年度末比9.2%)減少し、85億26百万円となりました。

この減少の主な要因は、長期借入金の減少6億55百万円やリース債務の減少1億47百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ3億8百万円(前連結会計年度末比3.0%)減少し、99億23百万円となりました。

この減少の主な要因は、為替換算調整勘定の減少6億15百万円や利益剰余金の増加1億78百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年1月24日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,079	4,674
受取手形及び売掛金	5,352	4,867
電子記録債権	462	506
商品及び製品	973	1,180
仕掛品	3,454	4,031
原材料及び貯蔵品	1,569	1,490
繰延税金資産	72	36
未収入金	262	311
その他	696	480
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	16,915	17,573
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,407	11,049
減価償却累計額	△6,609	△6,730
建物及び構築物(純額)	4,798	4,319
機械装置及び運搬具	25,873	25,130
減価償却累計額	△21,041	△21,246
機械装置及び運搬具(純額)	4,831	3,883
工具、器具及び備品	5,861	5,723
減価償却累計額	△5,512	△5,413
工具、器具及び備品(純額)	349	310
リース資産	1,997	2,077
減価償却累計額	△169	△307
リース資産(純額)	1,828	1,769
土地	2,283	2,221
建設仮勘定	1,071	1,381
有形固定資産合計	15,163	13,885
無形固定資産	62	49
投資その他の資産		
投資有価証券	560	665
繰延税金資産	99	41
その他	175	769
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	827	1,469
固定資産合計	16,053	15,404
資産合計	32,968	32,977

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,067	4,418
電子記録債務	327	424
短期借入金	3,100	4,150
1年内返済予定の長期借入金	2,364	1,912
1年内償還予定の社債	220	220
未払金	1,818	2,114
未払法人税等	129	167
賞与引当金	411	219
工事損失引当金	3	-
設備関係支払手形	2	115
その他	899	785
流動負債合計	13,344	14,527
固定負債		
社債	770	660
長期借入金	6,380	5,725
リース債務	1,646	1,498
繰延税金負債	43	77
役員退職慰労引当金	38	43
環境対策引当金	-	7
退職給付に係る負債	438	438
資産除去債務	75	75
固定負債合計	9,392	8,526
負債合計	22,736	23,054
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142	2,142
資本剰余金	2,114	2,114
利益剰余金	6,198	6,376
自己株式	△330	△330
株主資本合計	10,125	10,303
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	174	264
為替換算調整勘定	215	△400
退職給付に係る調整累計額	△283	△243
その他の包括利益累計額合計	106	△379
非支配株主持分	0	0
純資産合計	10,232	9,923
負債純資産合計	32,968	32,977

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	22,241	23,951
売上原価	19,534	20,486
売上総利益	2,706	3,465
販売費及び一般管理費	2,440	2,403
営業利益	267	1,061
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	7	6
受取賃貸料	14	15
違約金収入	-	72
その他	25	24
営業外収益合計	52	123
営業外費用		
支払利息	112	111
為替差損	440	336
減価償却費	46	40
その他	13	37
営業外費用合計	612	526
経常利益又は経常損失(△)	△292	658
特別利益		
固定資産売却益	8	1
特別利益合計	8	1
特別損失		
固定資産売却損	-	10
固定資産除却損	3	11
特別損失合計	3	22
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△289	636
法人税、住民税及び事業税	113	253
法人税等調整額	88	109
法人税等合計	202	363
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△491	273
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△491	273

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△491	273
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	89
為替換算調整勘定	△510	△615
退職給付に係る調整額	△45	39
その他の包括利益合計	△547	△486
四半期包括利益	△1,038	△212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,038	△212
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	15,497	3,675	2,806	21,980	260	22,241	—	22,241
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	639	—	641	367	1,009	△1,009	—
計	15,499	4,315	2,806	22,621	628	23,250	△1,009	22,241
セグメント利益 又は損失(△)	173	△180	261	253	29	282	△15	267

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△15百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	15,346	5,519	2,838	23,704	247	23,951	—	23,951
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	119	0	119	380	499	△499	—
計	15,346	5,638	2,838	23,824	627	24,451	△499	23,951
セグメント利益 又は損失(△)	660	△35	393	1,018	47	1,065	△3	1,061

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△3百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。